

differentiation induced by intermittent parathyroid hormone (PTH) treatment is mediated by osteoclastic presence. 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2007. 11.10, 抄録集 p22

10. Ubaidus S, LI M, de Freitas PH, Oda K, Takagi R, Maeda T, Amizuka N: Histochemical assessments on the distribution of osteocytes/ lacunar canalicular system. 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2007. 11.10, 抄録集 p22
11. 織田公光: 組織非特異型アルカリホスファターゼと低ホスファターゼ症の発症機序 第49回歯科基礎医学会 (サテライトシンポジウム) 札幌 8月29日

#### 【研究会発表】

1. Numa N, Ishida Y, Nasu M, Oda K: Characterization of tissue-nonspecific alkaline phosphatase with valine (406)-alanine substitution. ALPS (Alkaline phosphatases) 研究会 (平成19年7月28日) 兵庫 抄録 GP-8
2. Goseki-Sone M, Sogabe N, Oda K, Nakamura H, Orimo H, Hosoi T: Study of the single nucleotide polymorphism (787T>C) in the tissue-nonspecific alkaline phosphatase gene associated with bone mineral density. ALPS (Alkaline phosphatases) 研究会 (平成19年7月28日) 兵庫 抄録 GP-6

#### 口腔生理学分野

#### 【論文】

- 1) Amarasena J, Amarasena N, Yamada Y: Role of Oral Mucosa in the Detection of Different Sizes of Objects in a Group of Young Adults. J. Oral Biosci, 49(4): 286-291, 2007.
- 2) Miyaoka Y, Ashida I, Kawakami S, Miyaoka S, Igarashi A, Yamada Y: Aging-related influences on activity patterns in the suprahyoid muscles during swallowing; preliminary analysis. J Sens Stud, 22:394-402, 2007.
- 3) Yoshii F, Ayabe-Kanamura S, Hagiwara H, Yamada Y, Kubota K, Takano K: Similarity of odor qualities and similarity of molecules -Examples of molecules that contain a cis-type carbon-carbon double bond or a thioether moiety-. NSR.O... 58(1):57-69, 2007.
- 4) Kudo M, Mishima R, Yamamura K, Mostafaezur R, Zakir H, Kurose M, Yamada Y: Difference in physiological responses to sound stimulation in subjects with fear and subjects without fear of dental treatments. Odontology, (in press).

- 5) Sadakata M, Yamada Y: Perception of Foot Temperature in Young Women with Cold Constitution: Analysis of Skin Temperature and Warm and Cold Sensation Thresholds. J Physiol Anthropol, 26: 449-457, 2007.
- 6) Yamamura K: Mastication-induced modulation of orofacial sensory inputs as seen in the jaw reflex and single neuronal activities in the face primary somatosensory cortex of the rabbit. Arch Oral Biol. 52(4):329-33, 2007.
- 7) Inagaki D, Miyaoka Y, Ashida I, Ueda K, Yamada Y: Influences of body posture on duration of oral swallowing in normal young adults. J Oral Rehabil, 34(6):414-21, 2007.
- 8) Honma M, Okada A, Nomura S, Inoue M, Yamada Y: Relation between Bolus Size and Hyoid Movement during Normal Ingestion in Humans. J Oral Biosci, 49 (3):180-189, 2007.
- 9) 熊坂隆行, 升 秀夫, 川上嘉明, 光石智子, 長谷川由希恵, 菅野裕子, 白井明子, 行木ユキ江, 恩田絵里, 笠原かすみ, 齊藤利章, 坂本敏, 山田好秋: HAB (ヒューマン・アニマル・ボンド, 人と動物の絆) 研究 特別養護老人ホームでの動物介在実習前後における動物看護科学生の「気分」の変化. Animal Nursing, 12 (1) : 64-68, 2007.
- 10) 杉野伸一郎, 谷口裕重, 塚田 徹, 大瀧祥子, 梶井友佳, 山田好秋, 井上 誠: 姿勢や食塊の性状の違いがヒトのオトガイ舌筋の筋電図活動に与える影響. 顎機能誌, 14:13-23, 2007.
- 11) 江川広子, 別府 茂, 山村千絵, 黒瀬雅之, 八木稔, 山田好秋: 介護食の提供実態調査について - 新潟市の介護保険施設入所者の場合 -. 日咀嚼誌, 17 (1) :16-25, 2007.
- 12) 安達大雅, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食道入口部開大不全に対して手術とリハビリテーションを行い経口摂取に至った一例. 新潟歯学会誌, 37 (2) : 29-32, 2007.

#### 【著書】

- 1) 山田好秋: 第3章 咀嚼とは何か (3.1 咀嚼時の食物動態, 3.3.4 咀嚼運動中の顎反射の変調). 咀嚼の事典 (井出吉信 編) 41-47頁 61-62頁, 朝倉書店, 東京, 2007.
- 2) 山村健介: 第3章 咀嚼とは何か (3.2 咀嚼運動の中樞性制御機構). 咀嚼の事典 (井出吉信 編) 48-54頁, 朝倉書店, 東京, 2007.
- 3) 山村千絵: 第3章 咀嚼とは何か (3.3 咀嚼運動の末梢性 (感覚性) 調節). 咀嚼の事典 (井出吉信 編)

55-62 頁, 朝倉書店, 東京, 2007.

- 4) 山田好秋: 基礎編 2 章 摂食・嚥下機能の生理. 摂食・嚥下リハビリテーション 第 2 版 (才藤栄一 編), 51-61 頁, 医歯薬出版, 東京, 2007.
- 5) 山田好秋: 第 13 章 口腔生理学総論, 第 22 章 嚥下. 基礎歯科生理学 第 5 版 (森本俊文, 山田好秋 編) 271-278 頁 383-397 頁, 医歯薬出版, 東京, 2007.

#### 【商業誌】

- 1) 山田好秋: 1 から学ぶ! 口腔機能向上に必要な基礎知識 運動機能編 機能とは何か? (解説). 28 (1): 76-80, デンタルハイジーン, 2007.

#### 【その他】

- 1) 山田好秋, 江川広子, 別府 茂, 山村健介, 黒瀬雅之: 解説用ハンドブック 食事介助の基礎知識. 2007.

#### 【研究成果報告書】

- 1) 山田好秋 (研究代表者): 嚥下障害解明に向けた基礎的研究: 嚥下誘発における覚醒・睡眠の影響. 平成 19 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (A) 課題番号 18209056, 2007.
- 2) 黒瀬雅之 (研究代表者): 遺伝子改変マウスの機能評価に用いる咀嚼運動解析システムの再構築. 平成 19 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究), 2007.
- 3) 山田好秋 (研究代表者): 嚥下に対するうま味の影響. 平成 19 年度共同研究, 2007.
- 4) 山田好秋 (研究代表者): 摂食・嚥下障害の程度と介護食のマッチング改善に向けた介護現場での実態調査. 平成 19 年度 8020 研究事業, 2007.
- 5) 山田好秋, 山村健介: 義歯装着状況と摂食可能な米菓の硬さの関係. 平成 19 年度共同研究, 2007.
- 6) 平野秀利 (研究代表者): 電子式関節可動域計測記録装置の臨床応用に向けた改良. 平成 19 年度日本学術振興会科学研究費補助金研究, 奨励研究 課題番号 19927012, 2007.

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) 山田好秋: 咀嚼と脳研究手法に関する最近のトレンド. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007.8.26, 第 18 回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 16, 2007.
- 2) 山田好秋: 歯・咀嚼と QOL. 第 27 回日本医学会総会, 大阪, 2007.4.6-8.
- 3) 山田好秋: 歯科基礎医学会の現状と将来. 第 49 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 札幌,

2007.8.29-31, J. Oral Biosci, 49 Suppl. Page 75, 2007.

- 4) 山村健介: 食と健康をめぐる諸問題「歯学の観点から」. 第 635 回 新潟医学会例会, 2007.
- 5) 井上 誠, 山田好秋: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり, FOOMAJAPAN, 東京, 2007.6.8.

#### 【学会発表】

- 1) Yamamura K, Kurose M, and Yamada Y: Modulation of sensory transmissions of the orofacial somatosensory pathways during mastication. Store Kro Club, Finland, 2007.
- 2) Yamamura K, Kurose M, and Yamada Y: Activity of the cerebral cortex during intraoral form discrimination task measured by f-NIRs. 第 85 回日本生理学会大会, 東京, 2008.3.25-27, 第 85 回日本生理学会大会抄録集, 156, 2008.
- 3) Rahman M, 山村健介, 井上 誠, 黒瀬雅之, 山田好秋: 覚醒ウサギにおける咀嚼時開口反射の変調. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 236-237, 2007.
- 4) 林 頼雄, 山田好秋, 小林 博, 宮川 修: 研磨による金銀パラジウム合金鑄造咬合面レストの疲労特性の改善. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 236, 2007.
- 5) 塚田 徹, 谷口裕重, 井上 誠, 杉野伸一郎, 山田好秋: 食品や姿勢の違いが嚥下機能に与える影響. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 235, 2007.
- 6) 安達大雅, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食道入口部開大不全に対して手術とリハビリテーションを行い経口摂取に至った一例. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 235, 2007.
- 7) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠, 山田好秋: 要介護高齢者の口腔ケアにおける保湿剤の効果について. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 234, 2007.
- 8) 江川広子, 八木 稔, 山田好秋: 要介護者の摂食機能障害に対応した食提供の指針策定 - 全国の介護保険施設の実態調査 -. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 1 回例会, 2007.6.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (2): 234, 2007.
- 9) 杉野伸一郎, 塚田 徹, 谷口裕重, 井上 誠, 山田好秋: 嚥下時オトガイ舌筋の筋電図記録. 第 40 回新潟歯学会総会, 2007.4.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (1): 72, 2007.

- 10) 田巻元子, 井上 誠, 大瀧祥子, 山下 庸, 谷口裕重, 山田好秋: 摂食・嚥下リハビリテーション室開設後の活動報告 - 平成 18 年度の取り組み -. 第 40 回新潟歯学会総会, 2007.4.14, 新潟歯学会雑誌, 37 (1) :71, 2007.
- 11) 平野秀利, 山田好秋: 電子式関節可動域計測記録支援システムの構築 - 三次元 3 自由度肩関節可動域測定装置の試作 -. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 2007.11.10, 新潟歯学会雑誌, 37 (2) :247, 2007.
- 12) 別府 茂, 江川広子, 八木 稔, 山田好秋: 全国の介護保険施設における食事形態実態調査. 平成 19 年度 新潟歯学会 第 2 回例会, 2007.11.10, 新潟歯学会雑誌, 37 (2) :246, 2007.
- 13) 塚田 徹, 谷口裕重, 井上 誠, 山田好秋: 食品物性や姿勢の違いが舌筋活動に与える影響. 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大宮, 2007.9.14-15, 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集: 213, 2007.
- 14) 谷口裕重, 井上 誠, 大瀧祥子, 山田好秋, 大瀧祥子, 梶井友佳, 福原孝子, 柴田佐都子, 山田好秋: 当院摂食・嚥下リハビリテーション室のあゆみ 第 2 報: 頭頸部腫瘍術後症例についての検討. 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大宮, 2007.9.14-15, 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集: 189, 2007.
- 15) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 多系統萎縮症 (MSA) における口腔機能障害の特徴. 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大宮, 2007.9.14-15, 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集: 189, 2007.
- 16) 山本真也, 井上 誠, 谷口裕重, 山田好秋: 摂食時における開口反射の変調. 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大宮, 2007.9.14-15, 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集: 180, 2007.
- 17) 福原孝子, 井上 誠, 大瀧祥子, 谷口裕重, 安達大雅, 柴田佐都子, 梶井友佳, 山田好秋: 摂食・嚥下リハビリテーション室のあゆみ 第 1 報: 平成 18 年の取り込み. 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大宮, 2007.9.14-15, 第 13 回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集: 174, 2007.
- 18) Kobayashi H, Hayashi Y, Yamada Y: Effects of Heat Treatment and Polishing on Fatigue Strength of Cast Occlusal Rests Using Ag-Pd-Cu-Au Alloy. 日本補綴歯科学会第 116 回学術大会, 神戸, 日本補綴歯科学会第 116 回学術大会プログラム・抄録集: 269, 2007.
- 19) 黒瀬雅之, 山村健介, Zakir H, Rahman M, 井上 誠, 吉田教明, 前田健康, 山田好秋: 自由運動下のマウスを用いた咀嚼運動パターンの解析. 第 49 回 歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 札幌, 2007.8.29-31, J. Oral Biosci, 49 Suppl. Page 117, 2007.
- 20) 高橋 肇, 山村健介, 伊藤 彰, 泰羅雅登, 山田好秋: 硬さの異なる米菓を用いた動的咀嚼力測定. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007.8.25-26, 第 18 回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 50, 2007.
- 21) 江川広子, 別府 茂, 山村千絵, 黒瀬雅之, 八木 稔, 山田好秋: 食事介助支援資料の評価調査について「在宅介護の食事介助マニュアル・基礎編」のアンケート調査結果報告. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007.8.25-26, 第 18 回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 56, 2007.
- 22) 山村健介, 高橋 肇, 黒瀬雅之, Hossain MD Zakir, 山田好秋: 形状の異なる米菓の口腔内タスク時の大脳皮質血流変化. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 大阪, 2007.8.25-26, 第 18 回日本咀嚼学会学術大会プログラム・抄録集: 49, 2007.

#### 【その他の講演】

- 1) 山田好秋: 噛むことと食べることをみんなで考えよう. 第 3 回九州矯正歯科学会学術大会併設市民フォーラム, 長崎, 2008.3.1.
- 2) 山田好秋, 井上 誠: これからの非常食・災害食のために, 新潟大学地域連携フードサイエンスセンターシンポジウム, 新潟 (新潟市民プラザ), 2007.9.2.
- 3) 高橋 肇, 山村健介, 伊藤 彰, 山田好秋: 硬さの異なる米菓を用いた動的咀嚼力測定. 第 18 回日本咀嚼学会学術大会, 咀嚼能力体験コーナー, 大阪, 2007.8.25-26.

#### 【学会賞】

- 1) 宮嶋晃子, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 小林博, 山田好秋: バイオメカニズム学会論文賞. 自律顎運動シミュレータ JSN/2C の咀嚼運動シミュレータとしての基本性能評価.
- 2) 黒瀬雅之: 特定非営利活動法人 日本咀嚼学会第 17 回学術大会優秀口演賞. 自由行動下マウスにおける咀嚼運動時の筋活動様式の検討. 2007.8.25.